北見通運株式会社（運輸・倉庫業）

北見通運株式會社



当社の鉄道コンテナ輸送車輌

〇本社所在地：北海道　北見市
〇事業概要：運輸・倉庫業
〇常時使用する従業員：246名
（グループ全体・2026年3月時点）
〇現在の売上高：48億円
（ グループ全体・2026年3月期）
〇法人番号：1460301000288
〇Web：https://kitamitsuun.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
舛川 誠

北海道の生産と消費を支える総合物流インフラ企業へ

輸送事業：農産物の集出荷と鉄道コンテナ輸送で培った農業物流を基盤に、ロジェックスラインとの連携により広域輸送ネットワークを拡充。北海道発・道外発の往復輸送を推進し、輸送効率の向上と安定的な物流体制の構築を図ります。
倉庫物流事業：札幌圏に高機能倉庫を整備し、メーカーの保管・仕分け・配送を一体的に受託。札幌エリアにおける事業領域の拡大と収益基盤の多様化を図り、グループの新たな成長を支えます。
「Challenge the Next」のもと、次世代を担う人材の育成と権限委譲を進め、持続的な成長を支える組織基盤を強化します。既存事業の拡充と新たな事業領域への挑戦、M&Aによる相乗効果を通じて、純売上高100億円の実現を目指します。
安全・品質を最優先に、持続的な収益力の向上を図り、その成果を従業員の処遇改善とさらなる成長投資につなげます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

輸送事業：農業物流を基盤に荷主の開拓を進め、広域輸送ネットワークを拡充。往復輸送の推進と通年貨物の確保により、取扱量の拡大と収益力の強化を図ります。
倉庫物流事業：札幌圏の高機能倉庫を核に、複数メーカーの保管・仕分け・配送を一体的に受託。段階的な事業拡大により、グループの新たな収益の柱として育成します。
グループ全体：既存事業の強化と新たな事業領域への展開、M&Aによる相乗効果を通じて、2035年に純売上高100億円の実現を目指します。

課題

輸送事業： 農産物の収穫期における輸送力の確保と閑散期の稼働率向上。復路貨物の開拓と効率的な配車体制の構築。
倉庫物流事業：設備投資に見合う受託量と安定的な稼働率の確保。品質管理体制の充実と効率的な倉庫運営の確立。
共通：事業拡大を支える人材・管理体制と資金の確保。収益力の強化による持続的な成長と、従業員の処遇改善・さらなる成長投資の実現。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

輸送事業：産地・作物別の出荷計画に合わせた輸送力を確保。ロジェックスラインとの連携を強化し、道外荷主の開拓を通じて通年貨物の確保と往復輸送の拡大を図ります。また、適正原価に基づく運賃収受と取引条件の改善を進め、輸送効率の向上と収益基盤の強化を図ります。
倉庫物流事業：札幌圏に高機能倉庫を整備し、既存の冷蔵物流業務を移管・拡充します。温度・在庫・期限管理や店舗別仕分けなどの機能を強化し、新規メーカーの物流業務を開拓することで、保管・仕分け・配送の一体受託を拡大します。
M&A：当社グループの既存事業を補完し、双方の強みを活かした相乗効果が期待できるM&Aを推進し、事業領域の拡大と収益基盤の強化を図ります。

実施体制

事業推進体制：社長のもと、次世代の経営陣と各事業の責任者が連携し、役割と責任を明確にするとともに、権限委譲と人材育成を進め、事業拡大を支える組織体制を強化します。
投資・事業管理体制：高機能倉庫への投資やM&Aについて、収益性・投資効果・資金計画を総合的に検証し、事業の進捗と採算を継続的に管理する体制を構築します。
DX・業務管理体制：外部機関と連携し、業務情報の一元管理とデジタル化を推進。業務の標準化と情報共有の効率化により、生産性の向上と事業拡大を支える経営基盤を強化します。

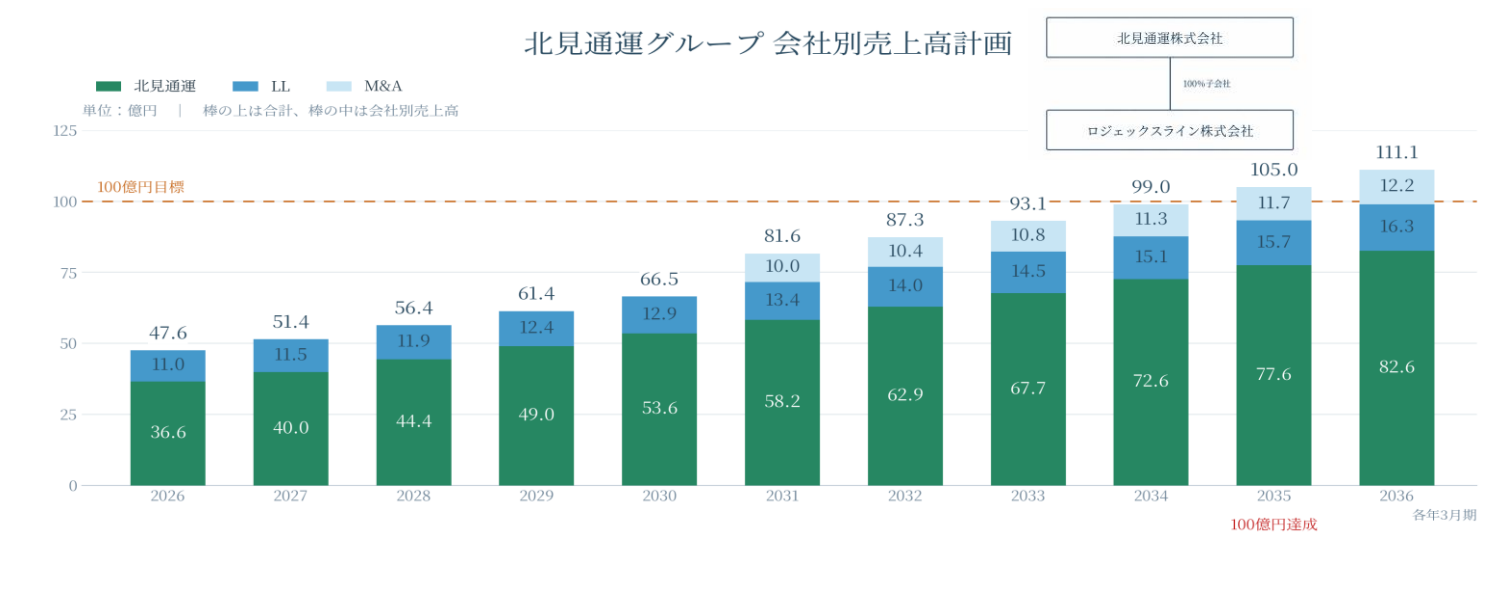
※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

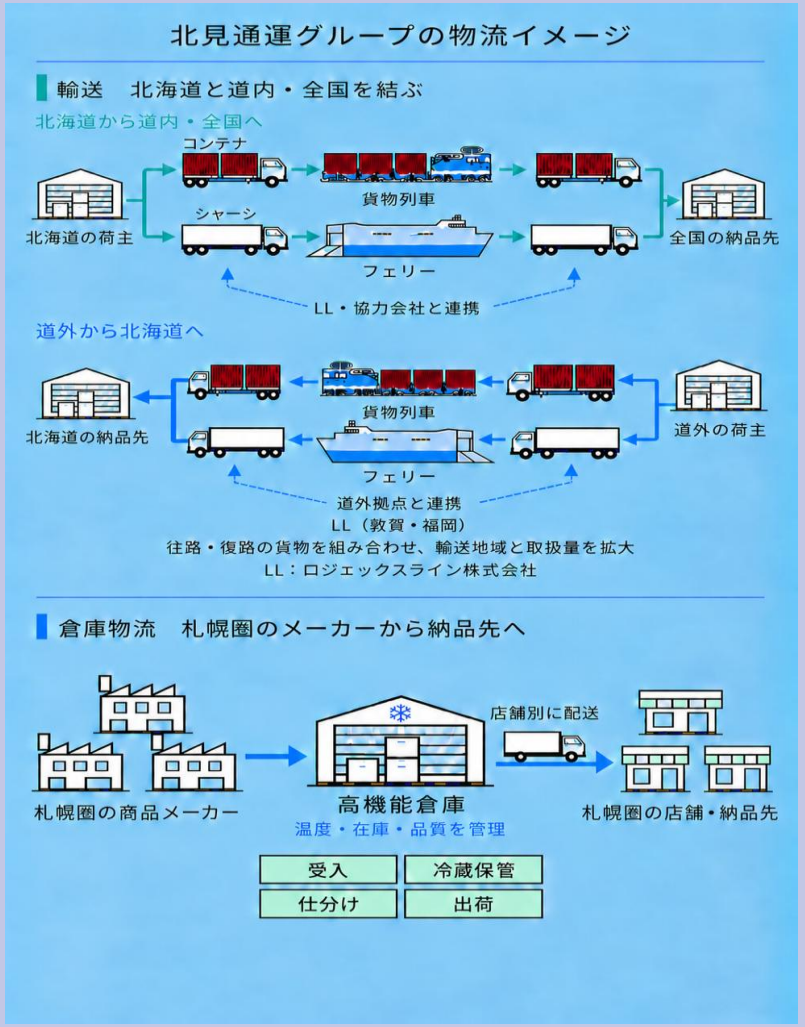
北見通運株式会社（運輸・倉庫業）

売上高100億円の実現に向けた戦略イメージ

■ 労働生産性アップのポイント
- ➤往復輸送の推進：北海道発の貨物と道外発の貨物を組み合わせ、空車回送の削減と車両稼働率の向上を図ります。
- ➤業務の効率化・標準化：倉庫内の作業動線や業務手順を見直し、無駄な作業を削減することで、作業効率の改善と従業員1人当たりの労働生産性向上を図ります。
- ➤倉庫・配送の一体運営：倉庫と配送機能の連携を強化し、入出庫作業と配車の最適化を進めることで、荷待ち時間の削減と積載率の向上を図ります。

■ 高機能物流サービスの確立
- ➤物流業務の一括受託： 保管・仕分け・配送を一体的に担うことで、メーカーの物流業務を効率化し、生産・販売活動を支える物流サービスを提供します。
- ➤物流品質と安定供給： 既存の菓子類の冷蔵物流を基盤に取扱品目を拡大。温度・在庫・期限管理を徹底し、高品質で安定した物流サービスを提供します。
- ➤DXによる業務基盤の強化： 業務情報の一元管理とデジタル化により、部門間の情報共有と業務の標準化を推進。属人化の解消と生産性の向上を図り、事業拡大に対応できる経営基盤を構築します。





〇法人番号：1460301000288（北見通運株式会社）、3430001090746（ロジェックスライン株式会社）